



飛翔

富士見市立
勝瀬中学校だより
令和7年度
2月号



1.16・17
菅平高原



一年生 スキー 宿泊学習

一年生たちは、互いに励まし合いながら懸命に斜面を滑り降り、寝食を共にする中で友好をより深めて帰ってきました。一方で、滞在先での給水トラブルにより、大変不便な思いをさせまい、また保護者の皆さまにもご心配をおかけし

ましたこと、心よりお詫び申し上げます。出発までの健康管理をはじめ、持ち物の確認など、さまざまな点でご理解とご協力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

【生活目標】
学期の終わりに向け
学校生活を見直そう

小中連携 授業体験



ふじみ野小で本校教員が6年生に社会科の授業を行いました。中学の雰囲気に触れながら学びのつながりを感じてもらうことで、春に向けた児童の安心につながったことと思います。



特別教室棟のサッシ改修が終わり、各フロアの東側にいた生徒は非常階段を使って運動場へ避難しました。「おかしもち」による速やかな避難はもちろん、本校は煙突効果を生じやすい構造であることや、遅刻や早退時に職員室に顔を出す習慣が大切であることなどを確認しました。

給食センター職員訪問



学校給食センターの調理員さんや職員が来校し、給食とともに成長してきた3年生と食事をしました。この日は、子ども大 **学☆ふじみ**で考案された「世界一おいしいつみれ汁」の提供日でもあり、工夫した点などのお話も伺えました。食への理解とともに、地域とのつながりを実感する温かいひと時になりました。

「未来を拓く力を身に付けた思いやりあふれる人の育成」
《知》進取の気性をもち、仲間と共に創造を楽しむ生徒
《徳》多様性を尊重し、互いの成長を喜ぶ生徒
《体》心身を鍛え、協働と貢献を重んじる生徒
昭和55年開校(46年目)生徒数675名20学級

- ◆入間地区理科教育研究発表会参加 ○○○○
- ◆富士見市民スポーツ大会 卓球の部
中学2年男子 準優勝 ○○○○、第3位 ○○○○
中学1年男子 準優勝 ○○○○、第3位 ○○○○
- ◆入間東部中学校軟式野球選抜選手
○○○○、○○○○、○○○○
- ◆ニューイヤーバレーボールカップ2026
(女子バレーボール)福岡中会場 第3位
- ◆埼玉県カデット強化卓球大会男子ダブルス
第1位 勝瀬中 ○○・TTC浦和 ○○ペア

飛翔の軌跡 PTAのご寄贈により 今年もたくさんパネルが並びました



イラストは、ホームページでの配信が認められたものを使用しています。

- ① 朝、微熱があったり、のどの痛みを訴えたりした際は、無理に登校させずに受診していただくようお願いいたします。
- ② 学習用端末の入替に際し、**利用規程**を改定いたしました。ご家庭での管理・活用にご理解とご協力をお願いいたします。

職員室前に展示中 ご来校の際にご覧ください



「わ、月だ」「本当に凸凹してる」…西門正面は車も入って来ず、望遠鏡を覗かせるにはもってこいの場所です。

家にも望遠鏡があるという生徒が意外に多く、ぜひ夜空に向けさせてみてください。



14歳
のキャリア
進路・キャリア学習会

昨年度に続き、2学年でキャリアコンサルタントの影山貴子様をお招きし、14歳で考えておきたい将来像や、相手に自分のことを知ってもらうための、中身と外見のポイントを教わりました。

3年生と面接練習をした時、落ち着いて話す姿に感心していましたが、彼らも1年前のこの講習会がきっかけとなったようです。

下記の通り、今年の2年生から「**経験や思いを語れること**」が、これまで以上に重要になってきます。今後も、主体的・対話的な学習を通して知識や技能を高めながら、自信をもって表現できる生徒の育成を目指して支援してまいります。



R9年度(現中2) 県公立高校入試における 自己評価資料と面接「MyVoice」について

1 面接導入の背景と目的

- ・評価する資質・能力:知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性
- ・面接は「話の上手さ」や「成果」ではなく、取り組みの過程・意欲・学びの姿勢を重視。

2 面接のねらい

- ・中学校生活や**地域活動**を振り返り、注力したこと、努力・工夫したこと、将来取り組みたいことを表現。
- ・「なぜ取り組んだのか」「どんな気持ちで続けたか」「何を学び、どう成長したか」を語ることが重要。

3 面接の流れ (実施日:令和9年2月26日)

- ・形式:個人または集団面接(高校ごとに異なる)
- ・時間目安:計5~8分程度

① MyVoice(1分30秒~2分) → 経験・思いを語る

② 質問・応答(3分30秒~6分)

4 準備のポイント

- ・「完璧な答えの暗記」ではなく、日常の気づきや変化を整理。キャリアパスポートやメモを活用。
- ・話す内容に「正解」はなく、ありのままを表現。

5 自己評価資料 (令和9年1月26日~2月9日提出)

- ・学校内外の活動・意欲を記入。得点に反映せず。
- ・文章の上手さや量、**自筆かどうかは評価対象外**。

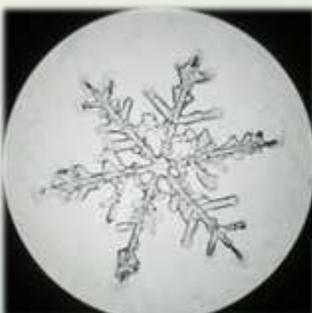
6 評価方法

- ・各高校の観点・規準に基づき、3段階で評価。
- ・実績ではなく、過程・意欲・学びに向かう力を評価。



これまでを振り返り、注力・努力したこと、入学後や将来取り組みたいこと、自己PRを記入。

詳細はこちらから ▶ **面接について、調査書との関係、マークシート方式**



え、なんで溶けないの!

1年生がスキー林間に行ってきたことを受け、校長室前に雪の結晶の標本を展示したところ、顕微鏡をのぞいた生徒からは「え、なんで?」「本物?」という声が上がっていました。かつて鼻水も凍るような山小屋で、降ってきた雪が溶けてしまう前に薬品を一滴垂らして被膜を作り、形をそのまま残したものです。



朝読書 ○○○○○○ 十分間 五七五で

第57回 人間東部地区 駅伝競走

旧福岡高校を起点に、東大久保から東中に至る園地帯を走ります。本校からも陸上部が多数のチームを作って参加し、沿道からの声援を受けながら力走しました。小学時代の水子貝塚駅伝が思い出され、遅く成長した子どもたちに元気づけられました。



よもや、よもや

(2月の校長講話から)

おはようございます。

もし朝会がなかったら、今朝はどんな本を読むつもりでしたか。私は皆さんが朝読書をしている間に廊下を歩くのが好きです。

ところで、「それ、何読んでいるの?」「それ、何の本? おもしろそう!」友達と、そんな会話をしたことはありますか。

思わず読みたくなる気にさせてくれる友達がいる人。あるいは、今読んでいる本の面白さを、誰かに伝えたくてうずうずしている人。今月末、ふじみ野分館で行われるビブリオバトルに参加してみませんか。

本の紹介者として2名、会場のお手伝いとして2、3名を募集中です。

さて、今月末といえば、3年生はいよいよ県公立高校の入学試験ですね。朝読書の時間も、一問でも多く問題を解きたくなる気持ちも、分らないでもありません。

しかし、朝ご飯を食べて動き出した脳に、10分間、読み物を流し込む時間にしてほしいのです。体は食べ物、心は読み物でつくられます。

3年生だけでなく、1・2年生のみ

なさんも無関係ではありません。みなさんが受験するときには、公立高校の入試問題もマークシート方式になるからです。

いくつもの同じような答えが並んだ中から、一つだけ正解を探したり、長い問題文のどこに大切なことが書かれているのかを見つけたりと、そういう力を身につけるために、毎日の朝読書の積み重ねは、知らず知らずのうちに役立つのです。

中学生のときのことです。廊下で友達と立ち話をしていたら、通りがかった国語の先生がとつぜん、

「辻さん、『よもや』ではじまる文の終わりには、どんな言葉が来るでしょう?」

と尋ねてきました。

よもや、よもや……。

私はとっさに、

「なにに『ない』で終わります!」と答えました。

ち読みしていたクラスメイトで、漢字やことわざなど、国語だけでなく、ほかの勉強もよくできる子でした。

私は、友達の前で恥をかかされたことと、Sボーにはかなわないという悔しさを、顔が真っ赤になったことを、今でも覚えていています。

そんなSボーを、大人になってから一度だけ、電車の中で見かけたことがありました。

そのときも彼女は、つり革につかまりながら、昔と変わらぬ姿勢で本を読んでいたのです。

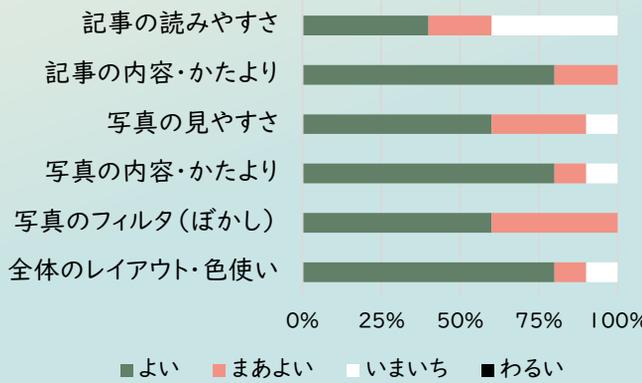
その姿を見て、私はもう全然悔しなくなりました。

もし、このお話が国語の文章題だったら、きっと、「なぜ『全然悔しくなかった』のか、次の中から、正しいと思うものを記号で答えなさい」という問題がついているでしょうね。

みなさんなら、どんな選択肢を考えますか。

やがていつか「給食」と同じように「朝読書」という言葉すら懐かしく感じられる日が来るでしょう。

さあ、今日という一ページをスタートしましょう。



「読みやすさ」を心がけながら、学校が生徒とともに教育目標を体現していく様子をお届けしてまいります。

【ご意見・ご感想】▼写真や文字が小さくなるため、文章は端的だとよい▼行事やイベントの様子とともに、学校生活の何気ない一面も見てみたい▼市のHPから、体育祭などの行事の様子やボランティア紹介などを楽しみにしている。母校の活躍と発展を祈念。

◆地域回覧はいつもモノクロ2ページですが、市のHPにはボランティア通信を含め、カラーで掲載。こちらからご覧ください。➡



紙面アンケート結果

飛翔 勝瀬

2.1(日) オススメしたくなる公民館になろう ～第39回地域・自治シンポジウムで2名が大活躍～

霞ヶ浦の北、筑波山の東、水戸市の手前に位置する小美玉市から、ゲストティーチャーとして中本正樹さんをお招きし、地域の公民館の有効活用について、水谷公民館で市内の中高生や大学生とグループワークを行いました。

ふだんから、ふじみ野交流センターや児童館を利用している子どもたちですが、小学校で市役所や消防署、図書館といった公共施設について学ぶことはあっても、公民館について改めて考える機会はほとんどありませんでした。

今回の学びは、身近な場所を「使う立場」から「支える・生かす立場」へと見つめ直す、よいきっかけとなりました。



中学生になると休日も部活動に励む日々となり、地域社会に目を向ける時間は次第に少なくなっていくと思います。そのような中、本校の「地域ボランティア」活動は、地域を知り、地域の一員として生きていく力を育てる、かけがえのない取り組みだと考えています。

小学校では高齢者を招いて昔の生活や遊びを教わったりしますが、中学校ではこちらから公民館に出向いて、音楽や絵画、囲碁・将棋といった高齢者サークルや、子育て世代のサロンなど、人と人をつなぐ活動に関わることができたら——。私自身も長く公民館を利用している方や大学の先生、地域活動のリーダーらとグループになり、次の一手に思いを巡らせる有意義な時間となりました。

キミの一步が誰かの笑顔に

- 予 今 後の 定
- ①ビブリオバトル(ふじみ野文化祭内) 2/28(土) 5分紹介・2分質問・意見交換後に投票 2名+運営スタッフ数名
 - ②グランドゴルフ大会 3/7(土) 午前中@ふじみ野小 会場整備/用具準備/一緒にプレー/何人でも

- 準備 中
- ③【児童養護施設に誕生日カードを送る会】・・・学校や家で作ったものを「まいまい」さんが取りに来てくれます
 - ④【市に集まったベルマークを集計する会】・・・休日に社会福祉協議会「パレット」で、地域の方と一緒に